

なごやの歌

名古屋市鶴舞中央図書館 平成 26 年 12 月 6 日～平成 27 年 2 月 19 日

みなさんは「なごやの歌」と聞いて、思い浮かべる歌はありますか？
今回の展示では、知る人ぞ知る？「なごやの歌」をご紹介します。

♪名古屋甚句

甚句とは、盆踊りや宴席などで歌われる歌謡の一種で、起源や発祥についてはさまざまな説があります。

「名古屋甚句」は、文化年間((1810年)ごろに唄われはじめ、明治9年(1876)ごろ旭廓の芸妓置屋の福田屋・甚鍵が唄って有名になりました。

当時は源氏節芝居の幕間に唄われたようです。

「芸者殺すに刃物はいらぬ、甚句とめればみな殺し」とも言われました。

(『九日新誌』より)

名古屋名物おいて頂戴もに すかたらんに
おきやあせ ちよつともだちゃかんと
くだるぜえも そうきやも そうきやも
何でやあも いきやすか おきやすか
どうしやす おみやはこの頃 どうしやあた
どこぞに姫でも 出来せんか
出来たら出来たと 云やあせも
私も勘考があるわあも おそきやあせも

「名古屋名物」より

代表的な歌詞は「宮の熱田の二十五丁橋で～」と始まるものです。いくつかの歌詞があり、組曲のように続けて唄われたようです。

「名古屋名物」というテンポの速いハヤシ歌も、「名古屋甚句」と合わせて唄われました。名古屋弁を盛り込んだ歌詞で、客を喜ばせたそうです。

また、「名古屋城の金鯨が城から降ろされ、東京に運ばれ、博覧会に展示された」というくだりを唄った歌詞もあります。

これは、鯨が明治5年(1872)の「湯島聖堂博覧会」へ出品され、その後全国に巡回されたという事実に基づいています。

【参照】国立国会図書館レファレンス協同データベース「名古屋甚句について調べたい」

http://cdr.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000068701

♪名古屋市歌 作詞：上田万年 作曲：岡野貞一

明治43年（1910）関西府県連合共進会の直前に作られました。けれども、市民にはあまり浸透しなかったようです。明治43年2月27日の新愛知新聞に記事があります。同日市会議事堂で発表式があり、翌日告示されました。『名古屋の歌だがね』で初めてCD化されました。

♪愛知縣唱歌 作歌：大和田建樹 安田俊高：作曲

明治43年に作られたもので、愛知県内の名所が次々とでてきます。「県廳おかる名古屋市は 三府につづく繁華の地」という歌詞があります。

♪大名古屋行進曲 作詞：西条八十 作曲：中山晋平

昭和6年（1931）に新愛知新聞が制定しました。当時は、この作詞作曲コンビで多くのご当地ソングが作られました。

♪名古屋ばやし 作詞：穂積久 作曲：中山晋平

名古屋の盆踊りでは最もポピュラーな曲です。戦後直後に、名古屋市、名古屋観光協会、名古屋商店連合会が制定しました。

♪今池音頭 作詞：高橋掬太郎 作曲：飯田三郎

デビューしたばかりのザ・ピーナッツの歌で、昭和36年（1961）に発売されました。名古屋の繁華街である今池は、ザ・ピーナッツのふたりがデビューのチャンスをつかんだ場所でもありました。今池商店街連合会が、平成19年（2007）にCDを再発売しました。

ハア 名古屋ネ
名古屋よいどこ お城が招く
ヨイトナ
花の今池 チョイト灯が招く
ソレ 来てみな 来てみな
寄ってみな
金の鯨 ピーカピカ ピカピカ

「今池音頭」より

♪白い街 作詞：内村直也 作曲：野崎真一

名古屋を舞台にした流行歌として昭和42年（1967）に発売されました。歌ったのは石原裕次郎です。全国的にはあまりヒットしませんでした。多くの名古屋人に記憶されています。この新曲発表会に、石原裕次郎は、映画「黒部の太陽」の撮影中のけがのため、足に白い包帯を巻き、松葉杖で現れたそうです。

♪ご当地ソング 連載記事「歌う名古屋」(音源が残っていない曲が多くあります)

『Nagoya 発』名古屋市市民経済局 (No.69 で終刊)

曲名	歌	発売	号数
『若いサブウェイ』	川路英夫	昭和 40 年	No.27
『名古屋駅前』	鹿島一郎	昭和 40 年	No.28
『今池音頭』	ザ・ピーナッツ	昭和 36 年	No.29
『白い街』	石原裕次郎	昭和 42 年	No.30
『名古屋ブルース』	神戸一郎	昭和 46 年	No.31
『なごやブルース』	天地茂	昭和 56 年	No.31
『名古屋っ子』	無有	昭和 51 年	No.32
『シティ・マジック』	センチメンタルシティロマンス	昭和 52 年	No.33
『名古屋ブギー』	笠置シヅ子	昭和 24 年	No.34
『名古屋特急』	ベンチャーズ	昭和 46 年	No.35
『ひばりのお買物』	美空ひばり	昭和 32 年 (吹き込み)	No.36
『汎太博行進曲』	二葉あき子、松平晃	昭和 12 年	No.37
『ナゴヤ地下街の歌』	楠トシエ	昭和 33 年	No.38
『大名古屋行進曲』	四家文子	昭和 6 年	No.39

また、市政 100 周年を記念して作られた「どんとこい名古屋」「城一男はだまって城になれ」(作詞：荒木とよひさ 作曲：弦哲也 歌：神野美伽) もあります。

♪名古屋の歌だがね

平成 22 年 (2010) に発売された開府 400 年の記念 CD には以下の曲が収録されています。

- ① つなごう、なごらっちょ②おひさしぶりだねナゴヤ③みんな名古屋で
- ④～⑥名古屋甚句⑦今池音頭⑧ナゴヤ地下鉄の歌・モグラのチカちゃん
- ⑨ZOOっといっしょ 木っといっしょ⑩なごや HERO! DANCE
- ⑪名古屋はええよ! やっとかめ⑫燃えよドラゴンズ!
- ⑬働くドアラのテーマ⑭ドアラのテーマ⑮お笑いマンガ道場テーマ曲
- ⑯みずいろの雨⑰しなやかな風⑱名古屋市歌

【参考文献】

- 『名古屋芸能史 後編（文化財叢書）』 尾崎久彌 名古屋市教育委員会 1971年
『名古屋市史 6 風俗編』 名古屋市郷土資料刊行会 1979年
『九日新誌』 伊藤馨 名古屋市史編纂資料
『日本民謡全集 3』 大島治清 雄山閣 1975年
『歴史写真集 名古屋再発見』 服部鉦太郎 中日新聞本社 1984年
『新修名古屋市史5』 名古屋市 平成12年
『新編名古屋市中区史』 中区政80周年記念事業実行委員会 1991年
『よみがえる金鯰伝説』 新世紀・名古屋城博開催委員会 2005年
『花の名古屋甚句』 小橋博史 中日新聞本社 1985年
『全国都道府県の歌・市の歌』 東京堂出版 2012年
『グラフィック 第3巻 復刻版』 柏書房 2005年
『百萬・名古屋』（復刻版） 「百萬・名古屋」復刻実行委員会 2012年
『愛知縣唱歌』 大和田建樹作歌 永昌堂 1910年
『大名古屋行進曲』 ビクター出版社 1931年
『名古屋ばやし』 ビクターレコード歌詞カードの複製, 製作年推定
『朝日新聞 2002年1月27日 日曜版』 「歌にさそわれ～白い街」
『ご当地ソング讚』 溝尾良隆 東洋経済新報社 1998年

【CD】（名古屋市図書館所蔵もの）

- 『今池音頭』 キングレコード制作 今池商店街連合会 2007年
（「お城音頭」シックス・ジョーズ）
『名古屋の歌だがね』 キングレコード 2010年
『復刻日本民謡大観中部篇 8』 日本放送出版協会 1993年
『ザ・民謡ベストコレクションきわめつきシリーズ中部・北陸・近畿編』
日本コロムビア 1996年
『ふるさとの民謡 8』 日本コロムビア 1999年
『日本の民謡 6』 キングレコード 2000年
『俗曲 ～有明～』 キングレコード 2001年
『ザ・民謡ベスト関東・甲信越・中部・北陸・近畿編』 日本コロムビア 2010年

【DVD】

- 『からくり人形山車』『名古屋甚句』（文化庁平成22年度地域伝統文化総合活性化事業）
名古屋市文化振興事業団 2000年